

不審者対策 学校・PTA・地域の取り組み

(1) 学校での取り組み

A. 学級指導・学級での調査

- ①帰宅方法調査 — 最後に独りになってしまう子 学童児童の帰り方 ※ 年3回(4月9月1月)
- ②防犯ブザー指導・ひまわり110番指導 ※ 年5回程度
- ③防犯ブザー携帯調査 ※ 防犯ブザー指導とあわせて行う
- ④帰宅時刻調査 — 親へ行先を連絡しているか 等 ※ 長期休業前に啓発も含めて行う
- ⑤大人への対応指導 「一人で行動しない」「道を聞かれてもその場で教える」等
- ⑥発声訓練 ※ 年5回程度行う
- ⑦セーフティ教室実施 平成20年5月30日
- ⑧安全マップ作成 4年生

B. その他の活動 ※ 可能なことから順次実践していく

- ①下校時刻徹底確認
- ②下校時見回り
- ③保護者への投げかけ
 - ・下校時刻に家の人に迎えに来てもらう 自宅近くで迎えてもらう
 - ・情報共有のための協力の投げかけ徹底「すぐに警察へ、落ち着いたら学校へ」
 - ・練馬HPの携帯情報紹介
 - ・防犯ブザー携帯の投げかけ
- ④地域・行政への投げかけ
 - ・ガードレール設置要請
 - ・通学路設定方法検討
 - ・安全指導員加配 等
 - ・地域との会合 — 防犯ブザー自体の紹介 町会との連携相談
- ⑤PTAとの相談 — 役員会・実行委員会を中心に対策を話し合う
- ⑥施設管理員 安全安心ボランティア — 4:00～ ゼッケンをつけて見回り実施

(2) PTAの取り組み例

★一人一人の意識再確認 「自分(の子ども)の命は自分で守る」

主体的に親が守る — 「親は学校に協力する」という意識からの脱却

- 登下校は親の責任
- 学校は下校時刻を守る 子どもに徹底指導する

- ①登下校時校外パトロール — 校外と別組織で「」結成
- ②ひまわり110番
- ③安全MAP作り ※ 地域保護者と学校の共同参画にできるか
- ④連絡網の徹底 — 特に昼間

(3) 地域での取り組み例

- ①犯罪を起こさない街づくり — 声の掛け合い あいさつ 地域パトロール等
- ②下校時のパトロール — 警察・区委託の警備会社・校外が実施